

柏崎刈羽原子力発電所 新規制基準適合性に係る審査を踏まえた検討・反映事項について（案）

- これまでの審査会合での検討・議論を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所の地震・津波等の評価について、資料●～●のとおり取りまとめた。
- 平成25年9月の設置変更許可申請時点から、審査会合での検討・議論を踏まえて反映した事項は下表のとおり。
- 今後、下表の反映事項を踏まえ、設置変更許可申請書の一部補正を実施する予定。

設置変更許可申請書における項目		H25.9申請後の検討・反映事項について (審査会合での主な議論内容)	審査会合コメント (本日の説明内容)	資料名
地盤	敷地の地質・地質構造	・敷地内の断層の活動性に関する追加地質調査 (L ₁ , V ₂ , F ₃ , F ₅ , α, β断層)	・寺尾付近の断層に関する評価結果については、北-2測線の断層評価結果などと表現を統一すること【平成27年9月18日】	資料●
	敷地周辺の地質・地質構造	・敷地近傍の地質構造に関する追加地質調査 (後谷背斜, 寺尾付近の断層, 長嶺・高町背斜) ・上載層の年代評価に関する追加地質調査	・北-2測線において、刈羽テフラと阿多島浜テフラの標高を示すこと【平成27年9月18日】 ・F ₅ 断層, 一連の正断層, 高角度断層, 低角度断層の定義を明確にすること【平成28年2月12日】	資料●
地震	敷地地盤の振動特性	・鉛直アレイ観測記録, 原子炉建屋基礎版上観測記録, 水平アレイ観測記録を用いた検討 ・2次元地下構造モデルの妥当性に関する検討	・長岡平野西縁断層帯による地震の評価結果から策定した基準地震動Ss-4~Ss-7の荒浜側・大湊側の相違に関して、基準地震動のとおりまとめ表に解説を加えること【平成28年1月29日】	資料●
	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動	・基本震源モデルとして、F-B断層による地震(断層長さ36km)および長岡平野西縁断層帯による地震(断層長さ91km)に見直し ・地震動評価における不確かさの設定を見直し(破壊伝播速度など) ・F-B断層による地震の断層モデルを用いた手法による地震動評価において、伝播特性を表現する補正係数を見直し、荒浜側(1~4号機側)のSs-2のNS方向及びUD方向を変更(NS方向:847→1,240gal, EW方向:1,703gal(変更なし), UD方向:510→711gal)		資料●
	震源を特定せず策定する地震動	・2004年北海道留萌支庁南部地震のK-NET港町観測点における基盤地震動及び敷地の地盤物性を踏まえ、大湊側(5~7号機側)に基準地震動Ss-8(水平方向:650gal, 鉛直方向:330gal)を追加		資料●
	超過確率の参照	・地震規模の設定に関する感度解析を実施 ・Ss-8の追加に伴い、敷地が位置する領域震源の1様ハザードスペクトルとの比較を追加	・スケーリング則の考え方について記載を追加すること【平成28年1月29日】	資料●
津波	基準津波の策定	・海底地形などのデータ更新に伴う評価見直し ・行政機関の想定波源を考慮	・取水路水位変動評価において津波の伝播状況が把握できるようにスナップショットを追加すること【平成28年1月29日】	資料●
	基準津波に対する安全性	・基準津波見直しに伴う砂移動評価見直し		資料●
基礎地盤及び周辺斜面の安定性	基礎地盤の安定性評価	・基準地震動の見直し・追加に伴う評価の見直し・追加 ・強度のばらつきを考慮した評価において二次元重合せ解析による評価を追加	・二次元重合せ解析について、解析ケースの考え方の整理及び必要なケースの追加を行うこと【平成28年4月15日】 ・二次元重合せ解析の妥当性に関して、三次元解析と比較した論文のレビューを資料に追加すること【平成28年4月15日】 ・各評価の位置付けを整理して、まとめ資料に記載すること【平成28年4月15日】	資料●
火山	立地評価	・影響を及ぼしうる火山の抽出資料の充実	・降下火砕物粒径について、粒度について、給源不明テフラの粒度分析を実施したのではなく文献値を採用した理由を示すこと【平成27年11月20日】	資料●
	影響評価	・降下火砕物の降灰層厚に関する追加検討による評価見直し		資料●